

Strix 5 : 62-64 (1986)

日本におけるクロワカモメ *Larus delawarensis* の観察記録

石江 馨¹・石江 進¹・中村一恵²

1985年1月2日、神奈川県平塚市相模川河口で観察撮影された中形カモメ1種は、そのカラー写真を検討した結果、北米産のクロワカモメ *Larus delawarensis* Ord と判定されるに至ったので報告する。

河口干潟における発見以後の滞留時間は極めて短く、以下に述べる特徴は、そのほとんどが撮影した写真から後日得られたものである。

背の色、頭部の形態等の特徴から、この個体は一見カモメ *Larus canus* L. に似ていたが、それよりはやや大きく、同時に見られたウミネコとほぼ同大であった。羽色、大きさ等の点でカモメとの識別が最も問題となると思われるので、この種との比較で今回の観察個体の特徴に触れ、クロワカモメと同定した理由を以下に述べる。その際、Grant(1982)、Harrison(1985)を参考にした。

観察個体の特徴

この個体は、以下に述べる特徴から、第2回冬羽に該当すると考えられ、次の点でカモメ第2回冬羽とは区別された。

1. 下嘴角の発達は弱く、その形状はややカモメに似る。嘴は黄色を帯び、その先端が幅広く黒い(図1)。その厚さは、第2図のスケッチに示したように、嘴峰の約1/2を占め、黄色部との境界は非常に明瞭に区切られている(下嘴の黒色部の中に楕円形の小白点が写されてあるが、この白点は実際のものではなく、反射によって白く見えているものである)。Grantによると、カモメ第2回冬羽および成鳥冬羽にも、こうした黒帯が嘴に出るが、クロワカモメに比べて、黒帯と黄色部の境界はあまり明瞭ではなく、カモメの場合、成長につれて黒帯が急速に薄くなってしまふのがふつうである。
2. 初列風切外側4枚が全体に黒褐色で、俗に mirror と呼ばれている白斑は最外側初列に1個あるだけである(図3)。次列風切先端近くに沿って暗色の小斑が線条にあり、尾羽に顕著な黒帯が出る(図4)。カモメ第2回冬羽では、初列の白斑は2個であり、Grantによると、次列風切に顕著な暗色条および尾に黒帯の出る個体はまれである(ただし、Harrisonによると、北米の亜種 *brachyrhynchus* では第2回冬羽でも尾に黒帯が部分的に残る)。

1986年9月10日受理

1. 〒221 横浜市神奈川区白幡西町30
2. 〒231 横浜市中区南仲通5-60 神奈川県立博物館



図1. クロワカモメ第2回冬羽。相模川河口。
1985.1.2 石江進撮影。



図2. 嘴のパターン、図1に基づいて描く。



図3. クロワカモメの飛翔形、初列の“mirror”
は1個。石江進撮影。



図4. 同、飛翔形、次列に暗色条があり、尾
に黒帯が出る。石江進撮影。

3. 背面の灰色の色調はカモメよりはるかに淡い(図1)。

以上のような、体の大きさ、嘴の形状、体色、翼のパターン等の特徴から、本個体をクロワカモメに同定できると考える。

クロワカモメは北米中部および東部に繁殖し、冬は西インド諸島、中米のパナマあたりまで渡る。亜種区分はされていない。カモメ、クロワカモメはともに3年で成鳥羽になる種類であるが、クロワカモメでは、次列の暗色条、尾の黒帯等の幼期の形質がカモメよりも遅くまで残されるようである。カモメとの区別でクロワカモメの特徴を述べたが、初列の“mirror”はカモメより小さく、発達が悪いこと(カモメの半分程度)、上下嘴に黒帯が明瞭に残されること、足の色が黄色であること、虹彩は淡黄色で眼瞼が赤いこと等の、クロワカモメ繁殖成鳥に見られる諸形質は、ウミネコ繁殖成鳥の特徴と共有する部分が多く、カモメよりはむしろウミネコに近いのではないかとと思われる。大きさの点でも、カモメよりはウミネコに近い。

太平洋側では、これまでハワイ諸島に迷入した例がいくつかあり、Berger(1972)によると、ハワイ、マウイ、モロカイ、オアフ、クレ各島およびパール・ヘルメス環礁から記録されている。ハワイ諸島への迷入例から考えて、今後も記録される可能性の高い種である。カモメ幼鳥および第1回冬羽との区別には十分注意を払う必要がある。Lauro and Spencer(1980)の論説が参考となろう。

なお、日本からは、宮城県伊豆沼において、1981年11月22日に成鳥1羽が観察された(野

鳥47巻4号, pp.31~32)ということであるが, この記録には本種と同定できる, 裏付けとなるような写真資料はないようである。初列風切の白斑がカモメと比べて大きかったという報文中の記載(p.31)は, クロワカモメの特徴に合致しない。

文 献

- Berger, A.J. 1972 Hawaiian birdlife. Univ. Press of Hawaii, Honolulu.
Grant, P.J. 1982 Gulls, a guide to identification. T & AD Poyser, England.
Harrison, P. 1985 Seabirds, an identification guide. Croom Helm, London & Sydney.
Lauro, A.J. and B.J. Spencer 1980 A method for separating juvenal and first-winter Ring-billed Gulls (*Larus delawarensis*) and Common Gulls (*Larus canus*). Amer. Birds 34 : 111-117.

A Japanese Record of Ring-billed Gull *Larus delawarensis*

Kaoru Ishie¹, Susumu Ishie¹ and Kazue Nakamura²

On 2 January 1985, a second-winter Ring-billed Gull *Larus delawarensis*, was observed and photographed on the mouth of Sagami River, Hiratsuka City, Kanagawa Prefecture. It is the first record of the species positively identified for Japan.

1. 30 Shirahata Nishi-cho, Kanagawa-ku, Yokohama 221
2. Kanagawa Prefectural Museum, 5-60 Naka-ku, Yokohama 231